

## 2019年度 西日本こども研修センターあかし テーマ別研修（実施要項）

### 「子どもの命の重さを見つめて～社会を挙げて取り組む価値ある挑戦～」

#### 1 目的

テーマ別研修では、児童相談所、児童福祉施設、市区町村等の関係機関（福祉、保健、教育分野を含む）における児童虐待や思春期問題に関連する様々な話題を掘り起し、それにまつわる現状、背景、課題、対応等について紹介し、新たな視点、方向性、知見を得ることに資することを目的としている。本研修では、子どもの命の重さを見つめて、子ども虐待による死亡事例等が社会に及ぼしてきた影響を振り返るとともに、すべての子どもの死を対象とした検証の仕組みについて考える。未来志向の死亡事例等検証として、子どもの死に直面した支援者もその経験を将来の子どもの死を防止するために活かすことのできる検証のあり方について共有する。

2 対象 子ども虐待に関わる各所属機関で指導的立場にあり**児童虐待対応経験通算3年を満たした者**

3 定員 概ね200名

4 期間 2019年（令和元年）9月3日（火）～9月4日（水）（2日間）

5 会場 アワーズホール・明石市立市民会館 中ホール（兵庫県明石市中崎1丁目3-1） ※地図参照

#### 6 内容

	時間	科目	講師	内容
1 日目 午前	10:30	<b>【開会式】</b>		開会挨拶
	10:45			オリエンテーション
	10:45	<b>【講義1】</b> 死亡事例等検証の理解	川崎二三彦 (子どもの虹情報研修センター)	今日までの子ども虐待における死亡事例等検証が子どもや家族の理解を深め、施策や社会に及ぼしてきた影響の理解を深める。
	12:15			
1 日目 午後	13:30	<b>【講義2】</b> 死亡事例等検証結果の活用 の理解	赤井兼太 (子ども福祉臨床研究室)	自治体において取り組む死亡事例等検証によって得られた結果をいかに活かすのかについての理解を深める。
	15:00			
	15:15	<b>【講義3】</b> 死亡事例等検証から展開した保健活動の理解	中板育美 (武蔵野大学)	0歳児の虐待死が多いことを踏まえ、親の養育行動が確認できない特定妊婦の段階から日々の保健活動において考慮すべきポイントについて理解する。
	16:45			
	16:45	<b>【振り返り】</b>	—	本日の研修から得られたことについて振り返る。
	17:00			
2 日目 午前	9:45	<b>【講義4】</b> 子ども虐待死亡事件調査報告書(イギリス)との比較による理解	田邊泰美 (園田学園女子大学短期大学部)	イギリスの子ども虐待死亡事件調査報告書が制度改革につながった経過から、子ども虐待死亡事例等の検証のあり方における現在の日本の課題及び意義について学ぶ。
	11:30			
2 日目 午後	12:30	<b>【講義5】</b> チャイルド・デス・レビュー(CDR)の理解	溝口史剛 (前橋赤十字病院小児科部)	子ども虐待による死亡事例検証から始まり次の死を防ぐためにはすべての子どもを対象とした検証が必要として、法律に基づき子どもの死亡を登録し、すべてを検証する仕組みとしてチャイルド・デス・レビュー(CDR)が生まれた。CDRについて解説し、予防できる子どもの死亡を減らす方策を検討する。
	14:00			
	14:15	<b>【シンポジウム】</b> 子どもの命の重さを見つめて	C01:川崎二三彦 (子どもの虹情報研修センター) Co2:山田不二子(認定NPO法人チャイルドファーストジャパン) シンポジスト: 赤井兼太(子ども福祉臨床研究室) 中板育美(武蔵野大学) 溝口史剛(前橋赤十字病院)	第193回国会閣法第48号附帯決議において、あらゆる子どもの死亡事例について死因を究明するチャイルド・デス・レビュー制度の導入を検討することとされた。すべての子どもの死亡を対象とするチャイルド・デス・レビューについて、これまでの子ども虐待による死亡事例等の検証と比較しながら、予防可能な死亡を予防する未来志向の検証について理解を深める。
	16:00			
	16:00	<b>【振り返り】</b>	—	本日の研修から得られたことについて振り返る。
	16:15			
	16:15	<b>【閉会式】</b>		閉会挨拶
	16:30			アンケート記入、事務連絡

7 費用 資料代 2,000円  
振込先 金融機関名 日新信用金庫(1689)  
店名 大久保支店(004)  
口座番号 普通 0467312  
サイ)アカシコドモザイダン リジチョウ ハマダ ジュンイチ  
口座名義 一般財団法人あかしこども財団 理事長 濱田 純一

8 申込期間 2019年(令和元年)7月29日(月)~8月16日(金)です。  
※ 受講決定は申込期間終了後にメールでお知らせします。

### 9 申込方法

1) あかしこども財団のホームページ ([https://akashi-kodomo-zaidan.jp/index.php/news\\_list](https://akashi-kodomo-zaidan.jp/index.php/news_list))  
の「お知らせ」に本研修についてのご案内を掲載しております。申込方法は、下記のとおりです。

① 西日本こども研修センターあかしテーマ別研修入力フォームによるお申込み

・「テーマ別研修申込フォーム」(<https://forms.gle/bWaZypATmB4WSZ8SA>)

に必要事項を記入して申し込みください。

\* 入力できない場合は、②をご覧ください。

・QRコードからも「テーマ別研修申込フォーム」を開くことができます。



② 入力フォームやQRコードの読み取りができない場合は、「テーマ別研修申込フォーム(Excel版)」をダウンロードの上、必要事項を入力したものをメールに添付して [kensyu@akashi-nkkc.jp](mailto:kensyu@akashi-nkkc.jp) 宛てに送信して申込をしてください。

なお、メール表題につきましては、【テーマ別研修申込】と記載してください。

☆ ご不明な点がございましたら下記の〈問合せ先〉までお願いいたします。

2) 受講決定は、メールにてご案内します。(本研修のお申込みは、先着順に決定します。)

### 10 その他(個人情報の取扱い)

登録された個人情報は、当センターが行う、申込者との連絡、研修参加者に配布する参加者名簿の作成、業務統計、情報発信に使用します。それ以外の用途には、使用いたしません。

#### 【個人情報の取扱い】

登録された個人情報は、当センターが行う、申込者との連絡、研修参加者に配布する参加者名簿の作成、業務統計、情報発信に使用します。それ以外の用途には、使用いたしません。

#### < 問合せ先 >

西日本こども研修センターあかし  
(平日 AM8:55~PM5:40)

〒674-0068

兵庫県明石市大久保町ゆりのき通1丁目4-7  
(あかし保健所1F)

TEL078-920-9675 FAX078-920-9671

Mail: [info@akashi-nkkc.jp](mailto:info@akashi-nkkc.jp)

【担当】 和仁・井上



#### 電車でお越しの方

##### JR・山陽電鉄 明石駅から徒歩約 15 分

JR 明石駅を南下。つきあたり、国道 28 号線との交差点を左折し、東へ 500mほど。

##### 山陽電鉄 人丸前駅から徒歩約 10 分

山陽電鉄 人丸前駅を南下。国道 28 号線との交差点を右折し、西へ 300mほど。

##### JR 明石駅からバス

JR 明石駅の東側の高架下(13 番のりば)から大蔵海岸方面乗車。市役所前下車。

アワーズホール・明石市立市民会館 アクセス <https://akashi.hall-info.jp/?menuID=9>

#### (参考) 【宿泊施設情報】

明石観光協会のホームページをご覧ください。 (<https://www.yokoso-akashi.jp/stay>)